

OpenBlocks® IDM シリーズ向け
RealBoard マップ
ユーザーマニュアル

2021年6月

プロンプト・K株式会社

改訂履歴

版数	日付	作成または改訂主旨	作成者
1.0	2017/11/13	初版	プロンプト・K(株) 上塘

目次

1. ログイン	4
1.1 ウェブブラウザ.....	4
1.2 アカウント.....	4
2. マップの設定	5
2.1 新規作成.....	5
2.2 マップ編集.....	6
2.3 マップ名の設定.....	7
2.4 期間の設定.....	8
2.5 背景画像の設定.....	14
2.6 エリアの新規作成.....	15
2.7 エリアの一覧.....	17
2.8 エリアの編集.....	18
3. タグの設定	19
3.1 タグの一覧.....	19
3.2 タグの新規作成.....	20
3.3 タグ設定ファイルのインポート.....	22
4. マップの使い方	23
4.1 マップの表示.....	23
4.2 マップ画面の説明.....	24
5. お問い合わせ先	27

1. ログイン

1.1 ウェブブラウザ

RealBoard の URL にウェブブラウザでアクセスしてください。推奨されるブラウザは以下のとおりです。

- Google Chrome
- Mozilla FireFox
- Safari

1.2 アカウント

RealBoard を使用するにはユーザーアカウントが必要です。既にアカウントをお持ちの方は RealBoard の URL にアクセスし、ユーザー名とパスワードを使ってログインしてください。まだアカウントを持っていない方は、新しくアカウントを発行してもらうようシステム管理者に問い合わせてください。

RealBoard にログインすると、マップの表示、編集が可能です。マップとはタグ（ビーコンや GPS、RFID など）の位置情報を可視化するウェブサービスです。

ユーザーは所属しているチームのマップのみ表示できます。チーム内のユーザー同士でマップを共有しているので、新しいマップを作成した場合は、同じチーム内の別のユーザーもそのマップを表示できます。

ユーザーは複数のチームに所属することができ、途中でログインしているチームを切り替えることができます。

マップを編集するには、ユーザーがチーム管理者である必要があります。

チーム管理権限を持たないユーザーはチームのマップを閲覧できますが、編集することはできません。ユーザーのチーム管理権限はシステム管理者が変更できます。

次章でマップの編集方法について説明します。以降の説明は、チーム管理者を対象としています。

2. マップの設定

マップとはタグ（ビーコンや GPS、RFID など）の位置情報を可視化するウェブサービスです。マップは複数のエリア（円または矩形）に分割することができ、タグの現在位置がどのエリアに属しているか表示します。また、過去に遡ってタグがどのエリアに存在していたか履歴を確認することもかのです。

タグには個別の名前、アイコン（カラー付き）を設定できるほか、属性として任意の情報を付加することも可能です。例えばタグが製品を表しているならモデル名やサイズ、製造場所などを付加し、タグを集計して表示するときに利用できます。

2.1 新規作成

チームを選択するとウェブサービスの画面に移動します。左サイドバーには、選択可能なウェブサービスの一覧がアイコンで表示されます。マウスカーソルをアイコンにあてるとサービス名がツールチップ表示されます。一覧の中から「マップ」が選択されているか確認してください。

「マップ」が選択されていると「マップの一覧」ページが表示されます。



図 2.1 マップの一覧

ユーザーがチーム管理者の場合、マップの「新規作成」ボタンが表示されます。「新規作成」ボタンをクリックして新しいマップを作成してください。

マップを作成すると「マップ編集」ページに移動します。

2.2 マップ編集

ユーザーがチーム管理者の場合のみ、マップの編集が可能です。

「マップ編集」ページの例を下図に示します。

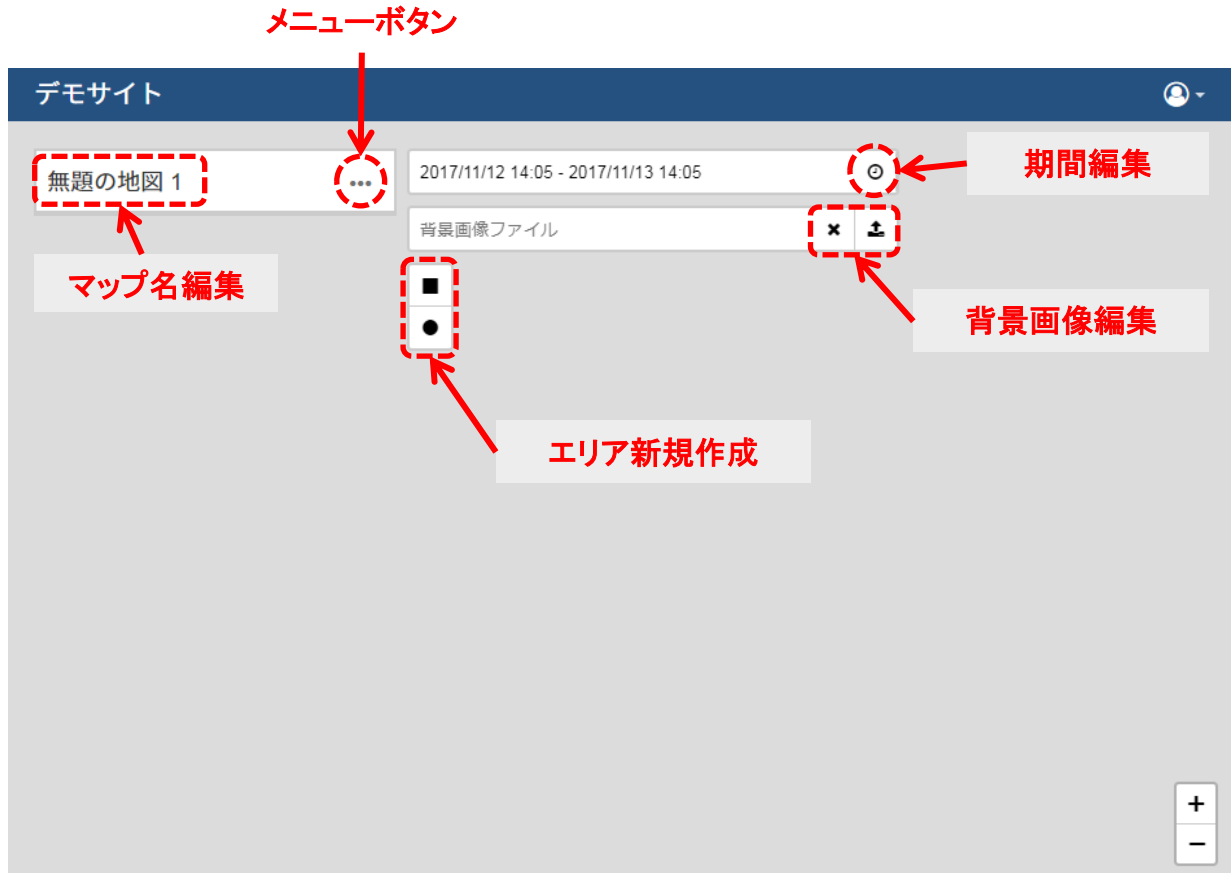


図 2.2 マップ編集

- ・メニューボタン …… 別ページへのリンク、マップの削除ボタンなどのメニュー項目があります。
- ・マップ名編集 …… マップの名前を編集します。
- ・期間編集 …… タグの時系列データの検索範囲を編集します。
- ・背景画像編集 …… マップの背景に描画する平面図をアップロードまたは削除します。
- ・エリア新規作成 …… マップにエリア（矩形または円）を追加します。マップを分割する領域です。

2.3 マップ名の設定

マップの名前を編集する手順を説明します。

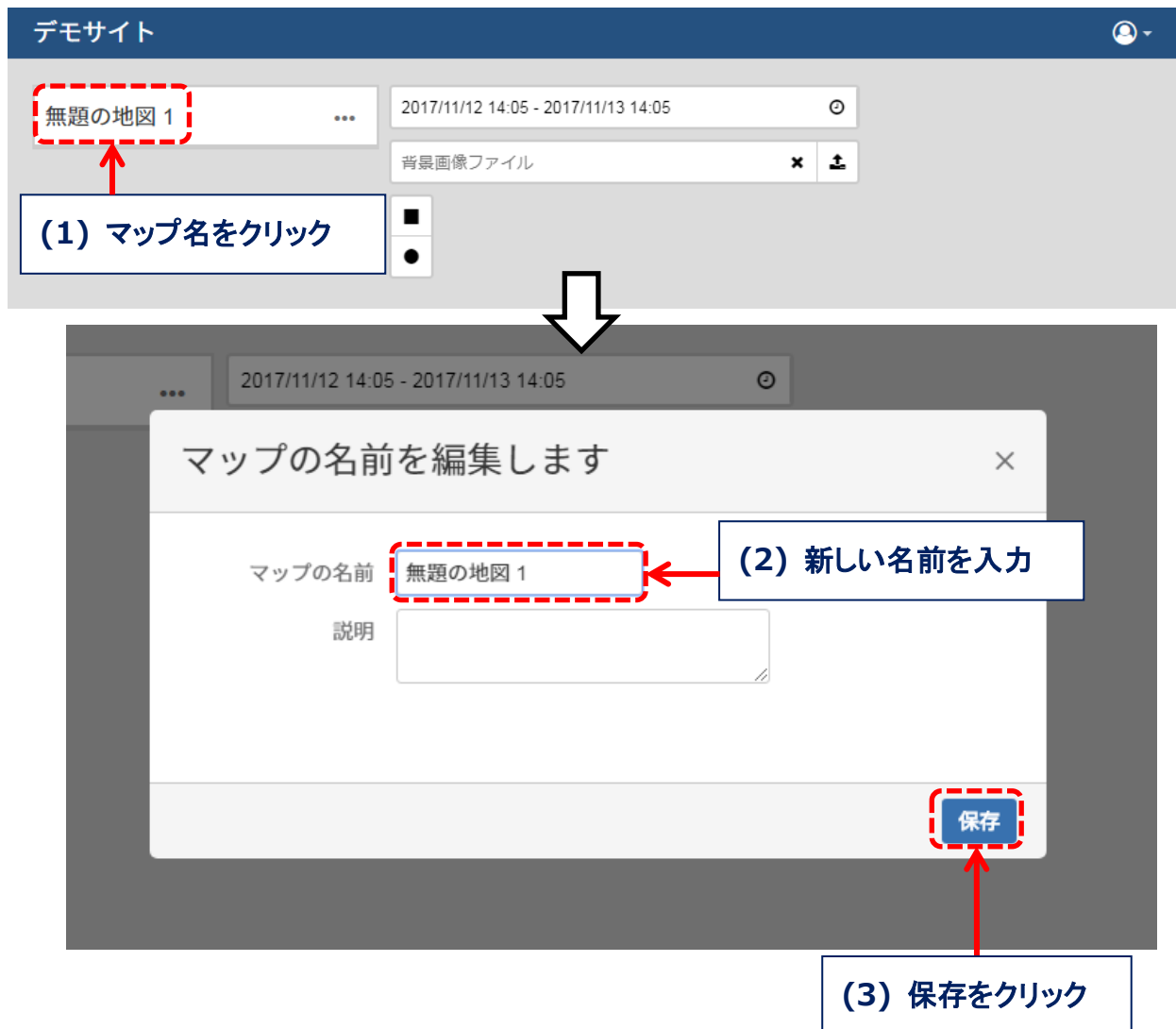


図 2.3 マップの名前の変更

- (1) 「マップ編集」ページで「マップ名」をクリックしてください。
 - (2) ポップアップしたダイアログの「マップの名前」テキストボックスに新しい名前を入力してください。
 - (3) ダイアログの「保存」ボタンをクリックしてください。
- 以上です。

2.4 期間の設定

タグの時系列データの検索範囲を設定します。マップには検索範囲内に含まれる最新のデータが可視化されます。

デモサイト

無題の地図 1 ... 2017/11/12 14:05 - 2017/11/13 14:05

背景画像ファイル × +

(1) 時計アイコンをクリック

期間を設定します (2) 各項目を入力

期間	
指定方法	<input checked="" type="radio"/> 現在からの期間 <input type="radio"/> 固定期間
現在時刻の切り上げ	<input type="radio"/> 日 <input type="radio"/> 時 <input checked="" type="radio"/> 分
過去	1 日
オフセット	0 日
期間外の古いデータも表示	
有効	<input type="checkbox"/>
期間内で選択した時刻の直近データのみ表示	
有効	<input type="checkbox"/>
過去	30 分
データを更新する間隔	
更新間隔[秒]	10
タイムスライダー表示	
初期表示	<input type="checkbox"/>

(3) 保存をクリック

保存

図 2.4 期間の設定

期間の設定方法には現在時刻を基準とする方法と、固定期間を設定する方法の2種類があります。

- ・ 現在からの期間 …… 現在を基準として何日（何時または何分）前までを範囲指定する方法です。
- ・ 固定期間 …… いつからいつまでと、開始日時と終了日時を範囲指定する方法です。

現在からの期間

現在からさかのぼって数日間、数時間、または数分間のデータを可視化します。

期間	
指定方法	<input checked="" type="radio"/> 現在からの期間 <input type="radio"/> 固定期間
現在時刻の切り上げ	<input type="radio"/> 日 <input type="radio"/> 時 <input checked="" type="radio"/> 分
過去	1 <input type="text"/> 日 ▼
オフセット	0 <input type="text"/> 日 ▼

図 2.5 現在からの期間

- 「指定方法」で「現在からの期間」を選択してください。
- 「現在時刻の切り上げ」で「日」、「時」または「分」を選択してください。指定した単位で現在時刻が切り上げられ、その時刻がデータ検索範囲の終了時刻になります。
 - 「日」で切り上げ。(例：現在 2018/01/01 12:30:45 なら 2018/01/02 までのデータを可視化)
 - 「時」で切り上げ。(例：現在 2018/01/01 12:30:45 なら 2018/01/01 13:00 までのデータを可視化)
 - 「分」で切り上げ。(例：現在 2018/01/01 12:30:45 なら 2018/01/01 12:31 までのデータを可視化)
- 「過去」のテキストボックスには数値で時間を入力してください。時間の単位は「日」、「時」または「分」を選択してください。現在時刻からどれくらい過去にさかのぼってデータを可視化するか設定します。(※あらかじめ設定可能な範囲に制限が設けられています。制限を変更できるのはシステム管理権限を持つユーザーのみです)
- 「オフセット」のテキストボックスには数値で時間を入力してください。時間の単位は「日」、「時」または「分」を選択してください。データ検索範囲の基準となる時刻を現在から過去または未来にずらします。正で過去へ、負で未来へ基準時刻を調整できます。

固定期間

固定期間は開始と終了で指定した範囲のデータを可視化します。

期間	
指定方法	<input type="radio"/> 現在からの期間 <input checked="" type="radio"/> 固定期間
開始	2017/11/13 00:00
終了	2017/11/14 00:00

図 2.6 固定期間

- 「指定方法」で「固定期間」を選択してください。
- 「開始」と「終了」のテキストボックスをクリックして日付入力ダイアログから時刻を設定してください。

期間外データの表示

「期間外の古いデータも表示」の「有効」チェックボックスを ON にすると期間の開始時刻を無視して、一番古いデータから終了時刻までのデータを検索して可視化します。デフォルトは OFF です。

期間	
指定方法	<input checked="" type="radio"/> 現在からの期間 <input type="radio"/> 固定期間
現在時刻の切り上げ	<input type="radio"/> 日 <input type="radio"/> 時 <input checked="" type="radio"/> 分
過去	1 日 ▼
オフセット	0 日 ▼
期間外の古いデータも表示	
有効	<input type="checkbox"/>
期間内で選択した時刻の直近データのみ表示	
有効	<input type="checkbox"/>
過去	30 分 ▼
データを更新する間隔	
更新間隔[秒]	10
タイムスライダー表示	
初期表示	<input type="checkbox"/>

図 2.7 期間外データの表示

直近データのみ表示

マップは検索範囲に含まれる最新データを表示します。検索範囲内で見つかった最新のデータが古かったとき、古いデータをマップに表示したくない場合はこの「有効」チェックボックスを ON にしてください。「過去」テキストボックスで指定した時間より古いデータはマップに表示されなくなります。デフォルトは OFF です。

期間	
指定方法	<input checked="" type="radio"/> 現在からの期間 <input type="radio"/> 固定期間
現在時刻の切り上げ	<input type="radio"/> 日 <input type="radio"/> 時 <input checked="" type="radio"/> 分
過去	1 日 ▼
オフセット	0 日 ▼
期間外の古いデータも表示	
有効	<input type="checkbox"/>
期間内で選択した時刻の直近データのみ表示	
有効	<input type="checkbox"/>
過去	30 分 ▼
データを更新する間隔	
更新間隔[秒]	10
タイムスライダー表示	
初期表示	<input type="checkbox"/>

図 2.8 直近データのみ表示

データ更新間隔

タグのデータを更新する間隔です。秒単位で時間を入力してください。

期間	
指定方法	<input checked="" type="radio"/> 現在からの期間 <input type="radio"/> 固定期間
現在時刻の切り上げ	<input type="radio"/> 日 <input type="radio"/> 時 <input checked="" type="radio"/> 分
過去	1 日
オフセット	0 日
期間外の古いデータも表示	
有効	<input type="checkbox"/>
期間内で選択した時刻の直近データのみ表示	
有効	<input type="checkbox"/>
過去	30 分
データを更新する間隔	
更新間隔[秒]	10 分
タイムスライダー表示	
初期表示	<input type="checkbox"/>

図 2.9 データ更新間隔

タイムスライダー初期表示

「初期表示」チェックボックスを ON にすると、マップを表示したときタイムスライダーを最初から表示した状態で開始します。デフォルトは OFF です。

期間	
指定方法	<input checked="" type="radio"/> 現在からの期間 <input type="radio"/> 固定期間
現在時刻の切り上げ	<input type="radio"/> 日 <input type="radio"/> 時 <input checked="" type="radio"/> 分
過去	1 日 ▼
オフセット	0 日 ▼
期間外の古いデータも表示	
有効	<input type="checkbox"/>
期間内で選択した時刻の直近データのみ表示	
有効	<input type="checkbox"/>
過去	30 分 ▼
データを更新する間隔	
更新間隔[秒]	10
タイムスライダー表示	
初期表示	<input type="checkbox"/>

保存

図 2.10 タイムスライダー初期表示

2.5 背景画像の設定

マップ背景として描画する画像ファイルをアップロードします。

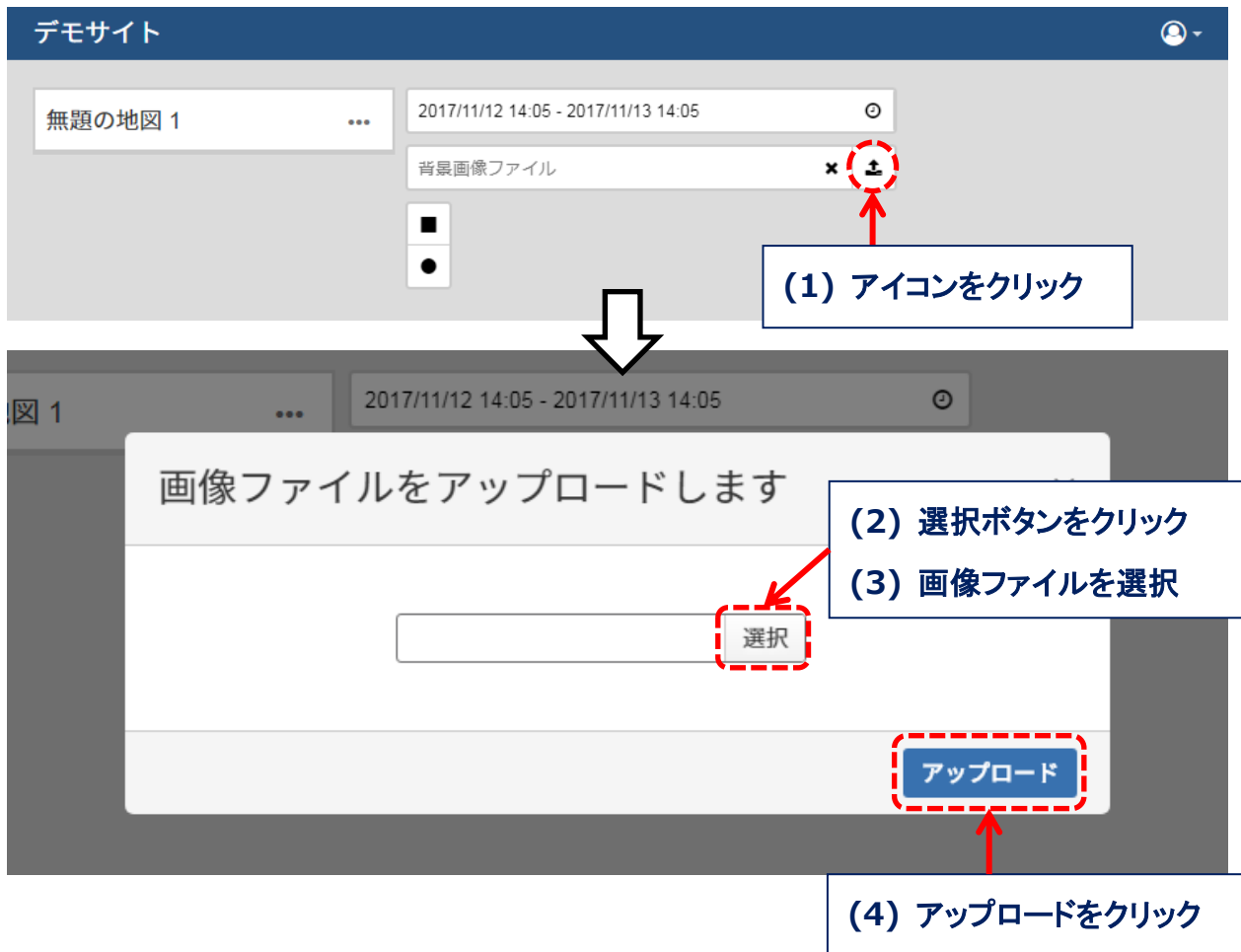


図 2.11 背景画像の設定

- (1) 「マップ編集」ページの「アップロード」アイコンをクリックしてください。
 - (2) ポップアップしたダイアログの「選択」ボタンをクリックしてください。(ファイル選択ダイアログが表示されます)
 - (3) ローカルの画像ファイルを選択してください。
 - (4) ダイアログの「アップロード」ボタンをクリックしてください。
- 以上です。

2.6 エリアの新規作成

マップは複数のエリアによって分割することができます。エリアは矩形または円で表現されます。

矩形エリアの新規作成

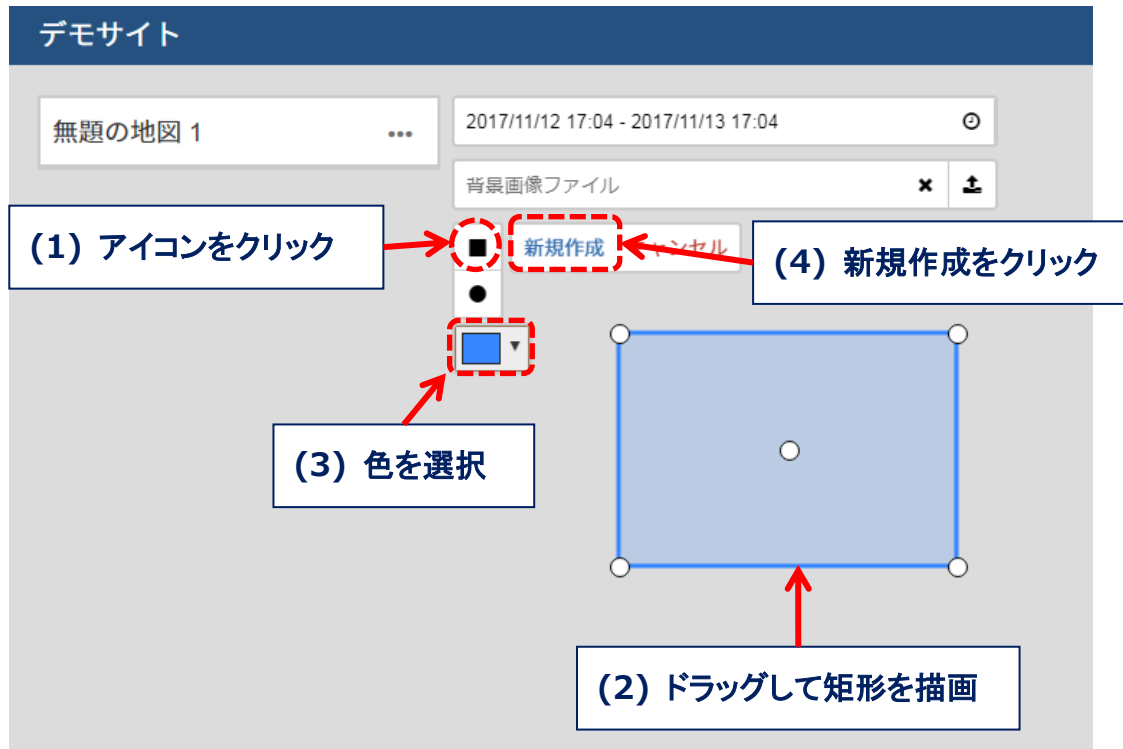


図 2.12 矩形エリアの新規作成

- (1) 「マップ編集」ページの「矩形」アイコンをクリックしてください。
 - (2) エリアを追加したい場所を選んでドラッグしてください。
 - (3) 色をカラーパレットから選択してください。
 - (4) 「新規作成」ボタンをクリックしてください。やり直したい場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。
- 以上です。

新規作成した後にサイズや色を変更したい場合は図形をクリックすると編集モードに切り替わります。

円エリアの新規作成

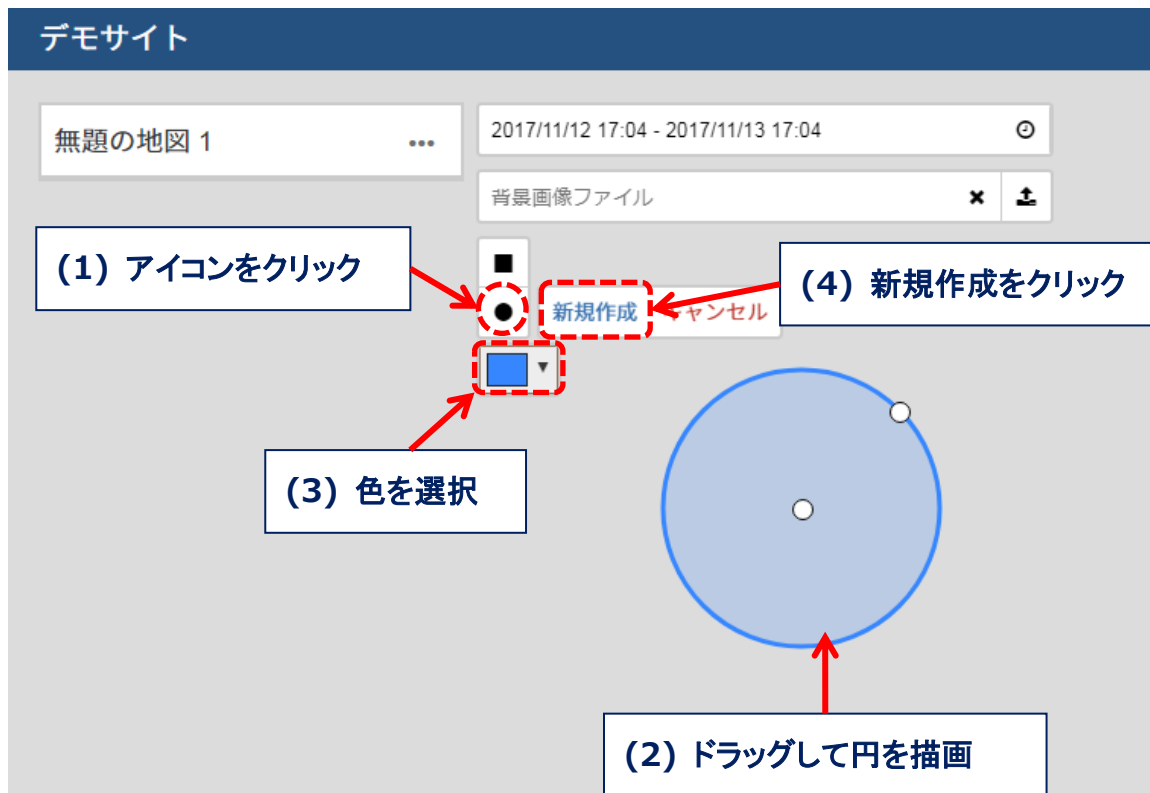


図 2.13 円エリアの新規作成

- (1) 「マップ編集」ページの「円」アイコンをクリックしてください。
 - (2) エリアを追加したい場所を選んでドラッグしてください。
 - (3) 色をカラーパレットから選択してください。
 - (4) 「新規作成」ボタンをクリックしてください。やり直したい場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。
- 以上です。

新規作成した後にサイズや色を変更したい場合は図形をクリックすると編集モードに切り替わります。

2.7 エリアの一覧

「マップ編集」ページにはエリアの一覧がリスト表示されます。一覧にはエリアの名前とロケーション（未設定の場合は警告）が表示されます。



図 2.13 エリアの一覧

ロケーションについて説明します。

タグの位置情報を表す時系列データは下記フォーマットの JSON データを想定しています。

```
{ "location": "ここにロケーションの文字列が入ります" }
```

タグ時系列データの **location** キー値とエリアのロケーション文字列が等しいなら、タグはそのエリアの中に存在しているとしてマップ上に可視化されます。

同値のロケーションのエリアが見つからない場合は、タグの所在は「不明」として処理されます。エリアにロケーションが設定されていない場合、マップにタグは表示されないの注意してください。

また、明示的にタグの場所がマップ外に出たとして、**location** キー値に **null** が送信される場合があります。その場合もタグの所在は「不明」として処理されます。

2.8 エリアの編集

リスト内のエリアまたはロケーションの表示名をクリックすると編集ダイアログがポップアップします。

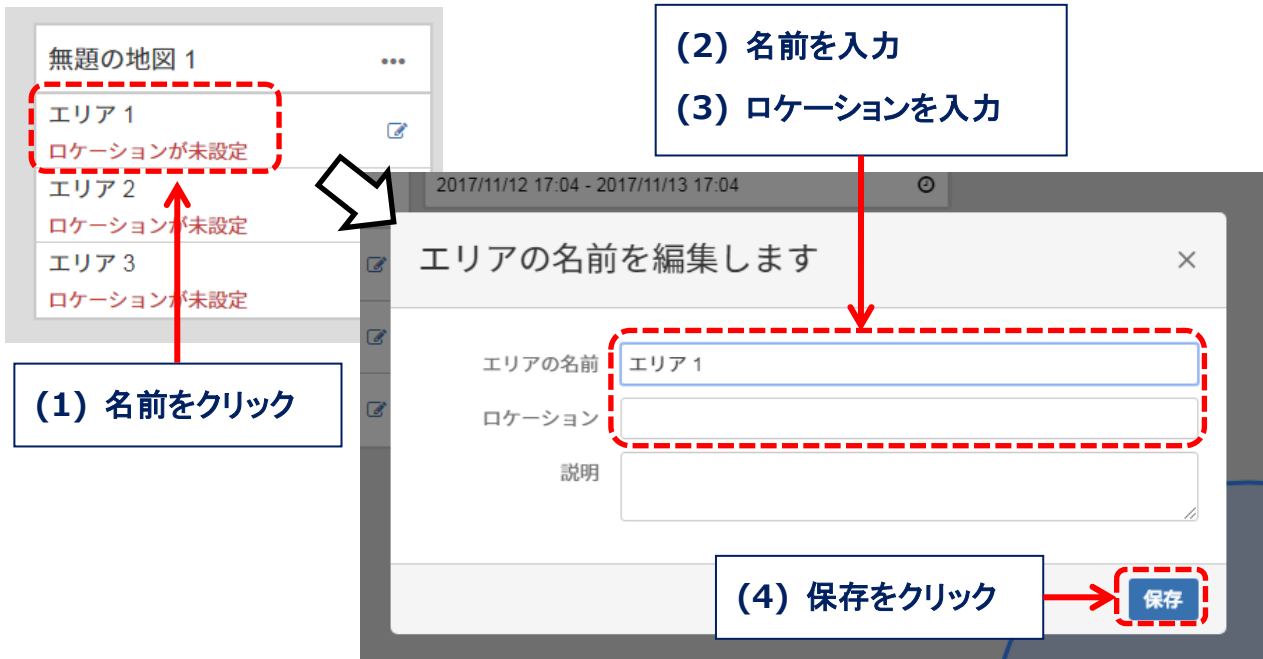


図 2.14 エリア名とロケーションの編集

- (1) リスト内の編集したいエリアを 1 つ選んで名前をクリックしてください。
- (2) ポップアップしたダイアログの「エリアの名前」テキストボックスに新しい名前を入力してください。
- (3) 続けて「ロケーション」テキストボックスに新しいロケーション文字列を入力してください。
- (4) 「保存」ボタンをクリックしてください。

以上です。

ロケーションに設定する文字列はタグの時系列データに含まれる **location** キー値と合わせてください。

3. タグの設定

3.1 タグの一覧

「マップ編集」ページの「メニュー」ボタンをクリックして「タグの一覧」リンクをクリックしてください。「タグの一覧」ページに移動します。



登録済みのタグの一覧が表示されます。初期状態ではタグはありません。

タグを追加する方法は 2 種類あります。

- ・新規作成 …… タグの登録フォームで 1 個ずつ作成します。
- ・インポート …… タグの設定用 CSV ファイルをインポートして複数タグをまとめて作成します。

3.2 タグの新規作成

「タグの一覧」ページの「新規作成」ボタンをクリックしてください。「タグの新規作成」ページに移動します。

デモサイト

タグの一覧 / 新規作成

無題の地図 1

タグを新規作成します。

(1) 各項目を入力

表示

名前

説明

ポイントID

アイコン ● 黒丸 ▼

色 赤 ▼

登録

キャンセル

(2) 登録をクリック

図 3.2 タグの新規作成

表示

マップ上にタグを表示するかどうか設定します。チェックボックスを OFF にするとタグは表示されません。デフォルト ON です。

名前

タグの名前です。マップのタグ一覧リストや、ツールチップ表示に使用されます。

説明

タグの説明です。マップのタグ詳細画面に表示されます。

ポイント ID

タグの位置情報を表す時系列データの ID です。テキストボックスをクリックするとポイント選択用のダイアログがポップアップします。ポイントの一覧からポイントを選択してください。

アイコン

マップ上に表示されるタグマーカーのアイコンです。リストから選択できます。

色

マップ上に表示されるタグマーカーの色です。リストから選択できます。

3.3 タグ設定ファイルのインポート

「タグの一覧」ページの「インポート」ボタンをクリックしてください。インポート用のページに移動します。

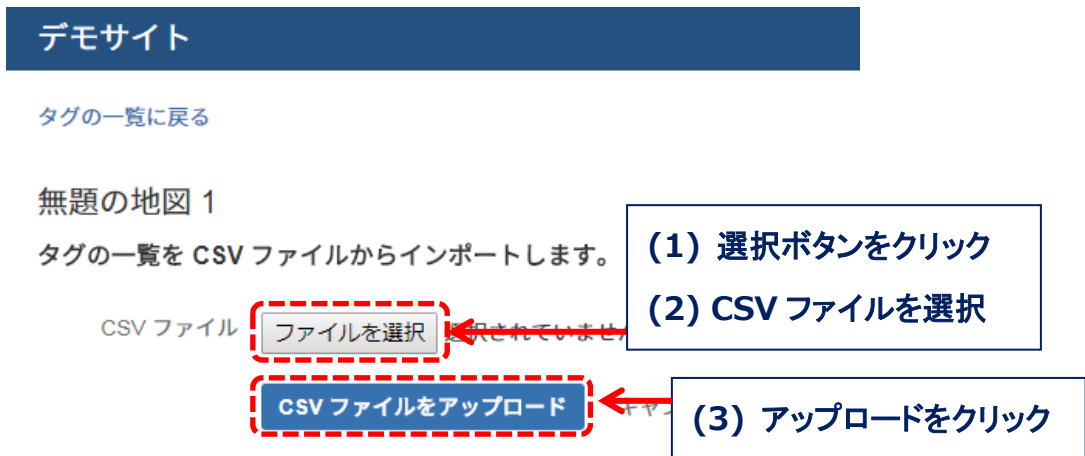


図 3.3 タグ設定ファイルのインポート

CSV 形式でタグ設定を記述したテキストファイル（UTF-8 エンコード）をインポートします。

1 行ごとに 1 つのタグ設定を記述します。タグ設定は「名前」、「ポイント ID」、「説明」、「アイコン」、「色」です。下記に列の内容を示します。

列名	必須	内容	デフォルト
Name	○	タグの名前。既に同じ名前が登録済みなら上書き。	
PointId	○	ポイント ID。	
Description	×	タグ説明用のテキスト。	空文字
Icon	×	マーカーのアイコンを表す文字列。インポートの Web ページ参照。	circle
MarkerColor	×	マーカーの色を表す文字列。インポートの Web ページ参照。	red
※カテゴリー（複数可）	×	タグを分類するためのカテゴリー。任意の文字列。	空文字

※カテゴリー列は複数記述できます。カテゴリーの列名は任意の文字列です。他のカテゴリー列とは重複しない名前が必要です。列名に空文字は指定できません。

カテゴリーはタグを分類するための付加情報です。例えば製品のタグなら、CSV 列名に「製造場所」、「モデル」、「サイズ」などの文字列を登録します。カテゴリー列の値にはそれぞれ実際の製造場所、モデル、サイズの設定をします。カテゴリー列の値が等しいタグは、同じカテゴリーに属しているとして分類されマップに表示されます。

CSV のサンプルを以下に示します。

Name	PointId	Description	Icon	MarkerColor	製造場所	モデル	サイズ
タグ 1	/tag/01	製品 No.1	circle	red	東京	Model-A	S
タグ 2	/tag/02	製品 No.2	star	blue	大阪	Model-A	M
タグ 3	/tag/03	製品 No.3	bolt	green	東京	Model-B	L

4. マップの使い方

4.1 マップの表示



図 4.1 マップ

- (1) 左サイドバーからマップを選択してください。
 - (2) マップの一覧で表示したいマップ名をクリックしてください。
- 以上です。

4.2 マップ画面の説明

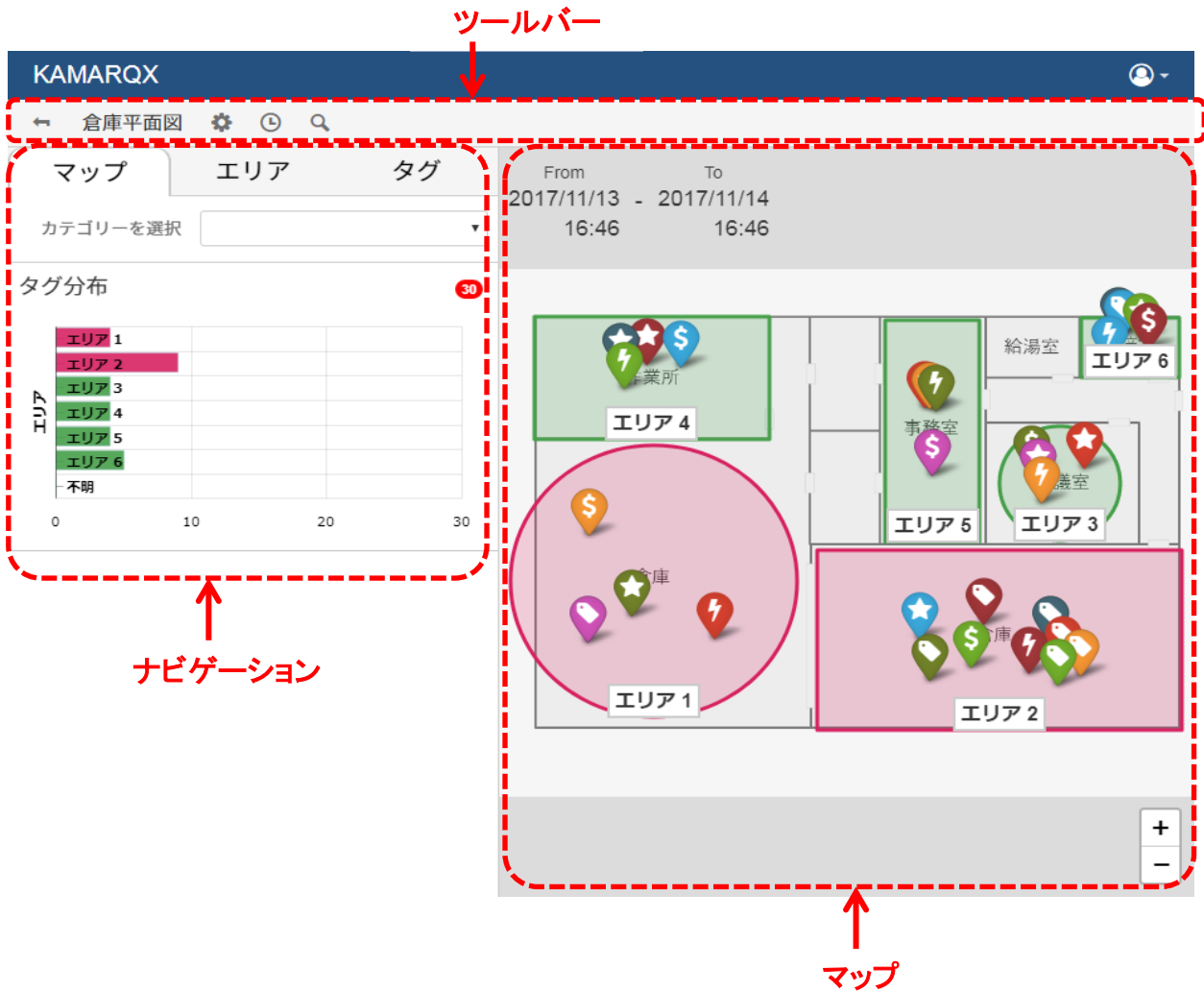


図 4.2 マップ画面の説明

マップ画面は大きく3つの領域に分かれます。

- ・ツールバー …… 各種メニューボタンが配置されます。
- ・ナビゲーション …… タグの分布グラフや情報が表示される領域です。
- ・マップ …… タグの現在地がマッピングされる領域です。背景画像、エリアの上に表示されます。

ツールバー

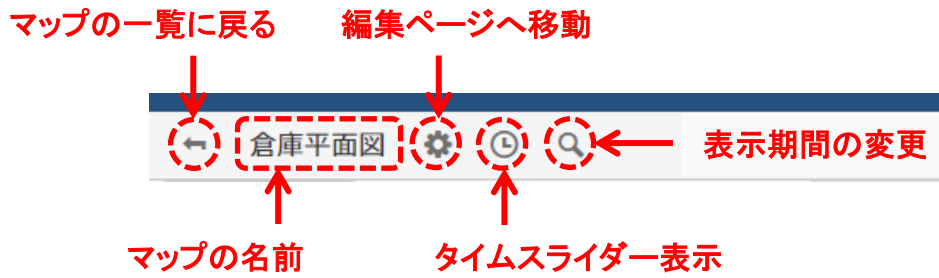


図 4.3 ツールバー

ナビゲーション

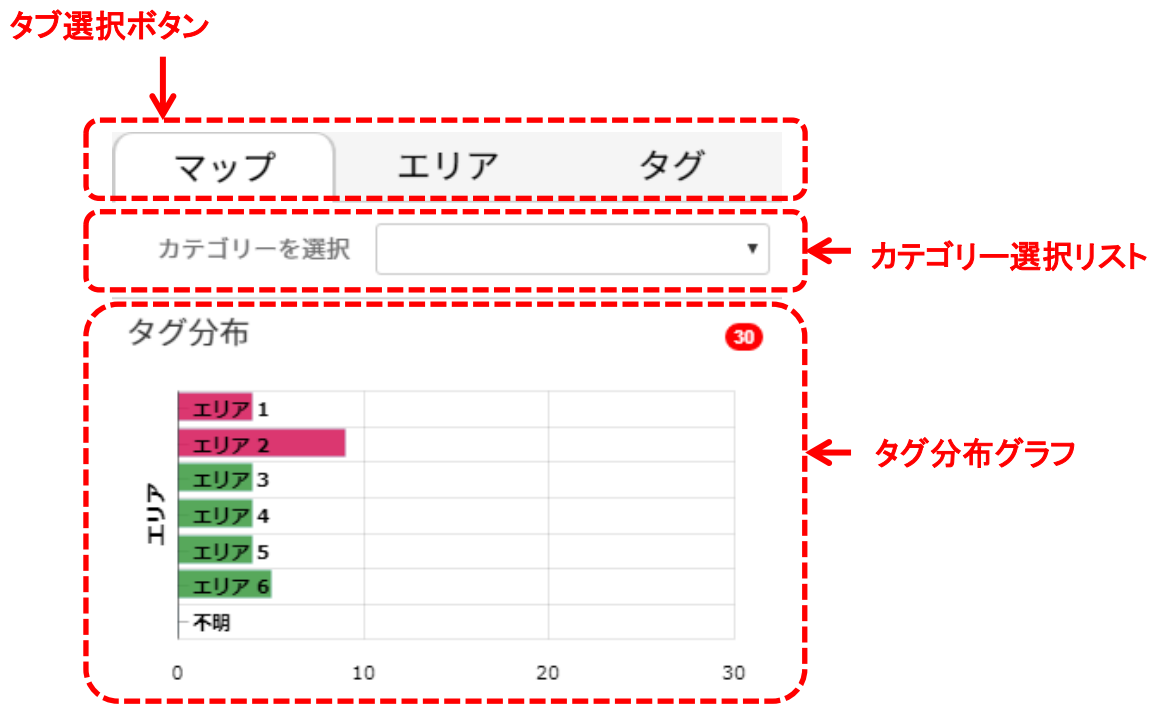


図 4.4 ナビゲーション

カテゴリを選択するとカテゴリで分類されたタグ分布グラフが表示されます。カテゴリ選択リストにカテゴリが表示されない場合、「タグの編集」ページでカテゴリを登録してください。（タグを編集できるのはチーム管理者のみです）

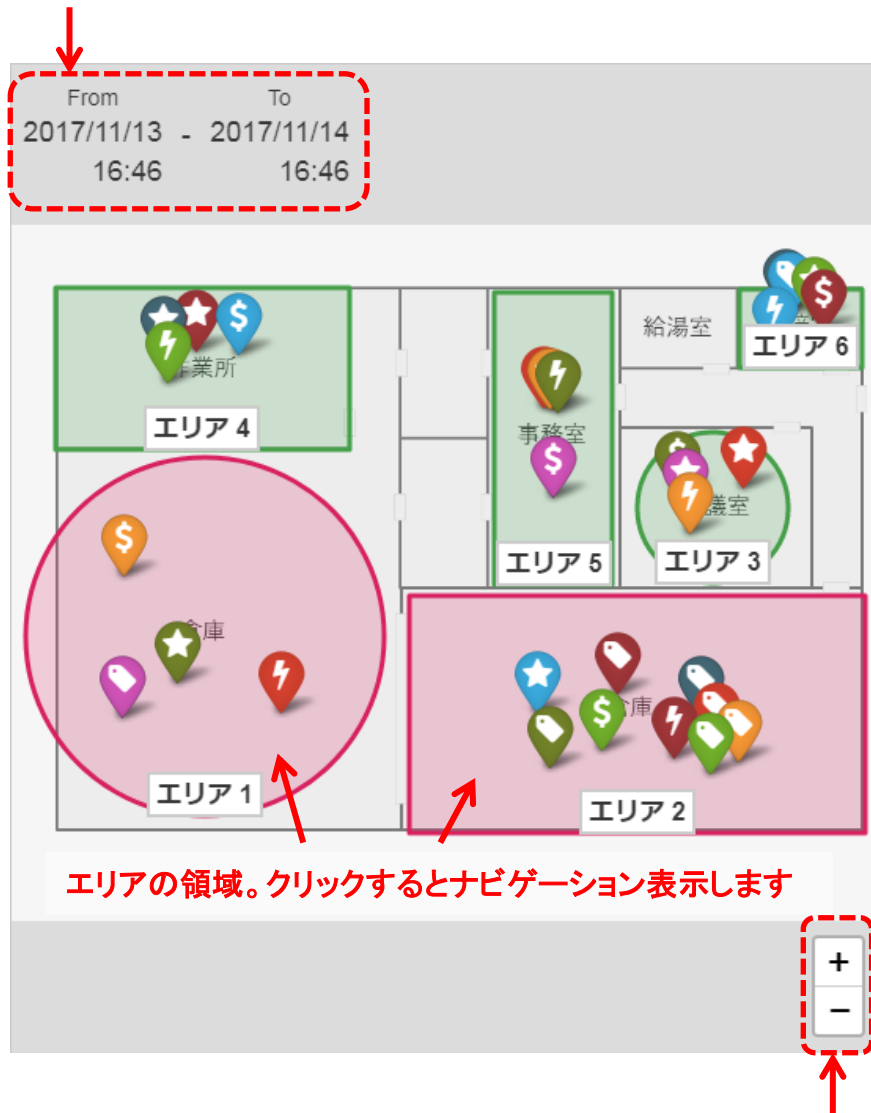
マップ

マップにはタグと、タグを格納するエリアが表示されます。マップの背景には登録した画像が表示されます。

マップ UI はマウスで操作可能です。

- ・ マウスドラッグ …… マップを縦横に移動します。
- ・ マウスホイール …… マップを拡大／縮小します。
- ・ マウスホバー …… タグやエリアにマウスカーソルを合わせると名前がツールチップ表示されます。

タグデータの検索範囲。範囲内の最新データが可視化されます



エリアの領域。クリックするとナビゲーション表示します

マップの拡大／縮小(マウスホイールでも可能)

図 4.5 マップ

5. お問い合わせ先

OpenBlocks IDM シリーズに関するお問い合わせは専用フォームまたはメールでの受付となります。

① 専用フォーム

下記 URL からお問い合わせ下さい。

<https://www.plathome.co.jp/contact/con-support/>

② メール

下記メールアドレスへ製品本体のシリアル番号を記載のうえ、お問い合わせ下さい。

support@plathome.co.jp